



防火地域で間仕切りのない大空間を実現した家

来客が多くても手狭にならない家を 防火地域で可能にする

防火地域に土地を持つ多くの方の悩みは、耐火構造で3階や地下室を設けようとするRC造や重量鉄骨での建設が多くなりますが、コストがかかるという点です。

高橋監理の耐火2×4は、この悩みを解消する強い味方で、多くの施主様から予算内に木造3階建てや地下室を実現しています。

今回ご紹介するY氏もまた、防火地域での住まい造りを耐火2×4で行われました。

お仕事柄来客が多く、広いスペースを必要されていたY氏は、1階を間仕切りのないパブリックスペースとして手狭さを解消して2階への吹き抜けで開放感をプラスしています。



地下のガレージと倉庫は行き来が可能で、荷物の出し入れを不自由なく行うことができます。

玄関から2階への階段はスリット窓からの採光で明るさを確保しております。吹き抜けによる開放的な空間にこだわりの照明が映えています。



リビングにはグランドピアノを設置しても余裕の広さが確保されています。グランドピアノの上にはトップライトを採用し、採光にも配慮がなされています。



広いシンクに家づくりの中心となったオーナー夫人のこだわりを感じるキッチンスペースです。